

平成29年度 地域学校協働活動事業 報告書

# 地域みんなて学び支えあう 地域学校協働活動

金沢市教育委員会では、幅広い地域住民のみなさまの参画により、地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子どもの学びと成長を支え、地域を活性化する活動を推進しています。



募集中!

あなたも地域ボランティアになってみませんか?

各地域で活躍する地域ボランティアを募集しています。  
詳しくは、各地域学校協働本部または下記生涯学習課までどうぞ。



【お問合せ】金沢市教育委員会 生涯学習課

TEL:076-220-2441 FAX:076-220-2488

E-mail:syougaku@city.kanazawa.lg.jp

[http://www4.city.kanazawa.lg.jp/39026/katei\\_1.html](http://www4.city.kanazawa.lg.jp/39026/katei_1.html)

# 地域学校協働 活動事業って？

地域学校協働本部を立ち上げ、地域と学校をつなぐ役割を担う地域コーディネーターを中心とした地域ボランティアの参画により、地域行事や郷土学習、学校周辺の環境整備など、地域に根ざした活動を実施しています。

たくさんの地域  
コーディネーター  
が活躍中!

## 地域学校協働本部

### 地域コーディネーター



【役割】 連絡・調整、地域ボランティアの確保、活動の企画  
【主な担い手】 教職員OB、PTA(育友会)役員OB、公民館関係者など

### 地域ボランティア



## 連携・協働

### 地域学校協働活動

- ・学習支援・図書ボランティア
- ・学校周辺の環境整備
- ・フィールドワーク など



## 学校

### 教職員



コミュニティ・スクール

## 活動事例の一部をご紹介します

### ① 地域講師によるマナー講座 - 職場体験に向けて -

西南部中学校

日時	平成29年6月29日(木) 5限	
関わった人たち	講師12名	
参加した子ども	2年生296名	
概要	【目的:キャリア教育として自己啓発へ働きかける】 職場体験に向けた事前学習の一環としてのマナー講座にあたり、業種別12グループに分けられた生徒に対して、業種別12人の講師を招き、職場体験に向けての「心構え」や「礼儀の指導」を行っていただいた。講師の選定・依頼・講師への説明と授業の打合せ(内容や流れ)・ロールプレイのシナリオ作りはコーディネーターが行った。	
特徴・工夫	先生方から、マナー講座を12グループの生徒(業種別)に分けることで、より丁寧な指導となる授業の工夫と要望があり、これらを受け業種別講師選定・依頼や講座の内容を詰めてより良いコーディネートを行った。	
成果	学年とコーディネーターが連携した新しい授業となった。地域人材が講師として授業に関わることができ、「学び合い高め合う協働活動」として、また社会人の「学びなおし」として大変有意義な活動となった。職場体験実施後の事業所からは、生徒への希望・期待を込めた好意的なコメントが、例年より多かった。	
課題	初めての活動だったが、さらに有意義な活動へと、内容・準備計画・各講師や教員との打ち合わせ時期等を見直したい。	

### ② 合格祈願餅つき

城南中学校

日時	平成29年12月16日(土) 9:30~11:30	
関わった人たち	3年生保護者38名、PTA役員11名、地域12名、教職員10名	
参加した子ども	3年生99名	
概要	新たなる旅立ちを控えた3年生とその保護者を対象とし、餅のような粘り強さで、個々の目標に向かってくれることを願い、参加者全員で協働することにより、絆や繋がりを強め、激励と意識向上の機会とする。また、日本の良き伝統文化を継承する機会とする。生徒はクラス毎に絵馬を作成し、合格を祈願する。	
特徴・工夫	保護者の参加も多かったため、地域の方との役割分担を明確にし、スムーズに作業を進めた。	
成果	未経験の生徒たちが、餅つきに慣れた地域の方からやり方などを教えてもらいながら、和気あいあいと自然にコミュニケーションが取れた。「よいしょ!」の掛け声とともに、繋がりが深まっていると思われる。参加の方から「また誘ってください」「合格して欲しいわ」との声が聞かれ、生徒達を身近に感じられたと思う。	
課題	保護者と地域の方の役割分担を工夫することで両者のコミュニケーションがより取りやすくなるように思う。	

### ③ 総合的な学習の時間 飛梅タイム・飛梅祭

紫錦台中学校

日時	7~10月 毎週水曜日3・4限【飛梅祭:平成29年10月27日(金)】	
関わった人たち	校区婦人会6名、保護者4名、祭り保存会5名、その他6名	
参加した子ども	全校生徒	
概要	総合的な学習の時間「飛梅タイム」各講座に講師をお迎えし、伝統文化などを学ぶ。飛梅祭で学習成果を発表する。	
特徴・工夫	・生徒が講座を選択し、地域ボランティア等による講師から2~3ヶ月かけて伝統文化等を学ぶ。 ・限られた時間内で生徒が習得できるよう、講師の方が指導内容を工夫してくださる。 ・講師と生徒の距離が近く、信頼関係が築かれる。	
成果	・各講座で学びを深め色々な経験をすることができ、飛梅祭では立派な発表をすることができた。 ・始めは恥ずかしそうにしていた生徒も、講師の声掛けなどで回を重ねるごとに自信が出て楽しそうに授業に取り組むようになり、自ら考えるようになった。 ・講師の方から、生徒の表情や学ぶ姿勢などの変化を見ることができ楽しく指導できたという感想をいただけた。	
課題	講師、コーディネーター、学校の間での連絡をうまく取れるように工夫したい。	

## ④ 地域のお手伝い活動(高齢者宅の草むしり)

北鳴中学校

日時	平成29年10月14日(土)、21日(土) 9:00~11:30
関わった人たち	保護者2名
参加した子ども	1~3年生のボランティア部員6名
概要	学校に集合し、徒歩で高齢者宅に行き、草むしりやゴミ拾いを行った。保護者ボランティアと教職員、地域コーディネーターが安全確保のために見守った。
特徴・工夫	地域の民生委員・児童委員協議会の協力のもと、地域コーディネーターが依頼のあった高齢者宅に事前に伺い、事業概要説明と活動日時と家の周囲に蜂の巣や危険な物がないかを確認した。10日前に訪問したため、高齢者の思い違いがないよう活動前日に、再度訪問する旨を記載した書面をポストに入れた。また、当日のごみや草は学校に持ち帰って処分した。
成果	「ありがとう」と小さな声で何度も感謝する高齢者を見て、地域のお年寄りを思いやり、地域の一員として自分たちにできることがあることを知り、今後の積極的な地域貢献の気持ちにつながった。
課題	実施場所は学校より徒歩30分以内としたが、もっと遠い場所からの依頼希望もあったので移動手段や作業時間の検討が必要である。



## ⑤ 夏休み防災教育

中村町小学校

日時	平成29年7月28日(金) 9:30~11:15
関わった人たち	消防団、見守り隊、ご近所コラボ、石川県災害ボランティア協会、更生保護女性会の方々【総勢約20名】
参加した子ども	全校生徒290名
概要	夏休みに地域防災イベントを学校内で開催し、全児童が地域の方と一緒に防災について知識を広めたり、様々な体験をする。縦割り班で校内クイズラリーをしたり、各ブース(8か所)を回り、交通安全のお話を聞いたり、消火体験や、携帯トイレの作成など防災に関する活動を行い、振り返りも実施。
特徴・工夫	・8ブースの中から興味関心があるものを4つ以上回ることとし、主体的に参加できる方法を取った。 ・クイズラリーや体験の後にグループごとに振り返り時間を取り、活動の重要な点や興味深かった点について話し合い、学習効果を高めた。
成果	暑い夏の日だったが、子どもたちはクイズや体験を通して防災に興味関心を持ち、意欲的に取り組むことで、心に残る活動になった。
課題	・全てのブースは回れず、人気が高く回れないブースもあった。 ・次年度以降どのように継続していくか。



## ⑥ 伝統の重みを感じながら卒業する子ども達

森山町小学校

日時	平成29年7月7日(金)~10月25日(水)
関わった人たち	加賀友禅作家3名(うち保護者1名)、染め師1名
参加した子ども	6年生49名
概要	加賀友禅の仕事に携わっている職人さんから直接指導を受けながら、自分の卒業証書を入れる台紙を作成した。下絵、彩色、糊置き、友禅流しと行程を踏んで仕上げ、職人さんから技術だけでなく、伝統文化を継承する心意気や大切さを学んだ。
特徴・工夫	・長期間、継続して職人さんから直接指導を受けることで、友禅のすばらしさや職人の技術を実感として学ぶことができるようにした。 ・技だけでなく、友禅の歴史や現状等を学び、伝承文化の継承の大切さを学ぶことができる場とした。
成果	伝統文化の技やすばらしさを実感し、大切にしていきたいという思いを持つことができた。
課題	時間と費用、継続した打合せが必要な活動であるため、人やシステムが変わっても続けていけるような計画的な運営方法を工夫する必要がある。



## ⑦ 三馬交通安全教室

三馬小学校

日時	平成29年7月24日(月)9:30~11:00、平成29年7月26日(水)13:30~15:00
関わった人たち	三馬交通推進隊、三馬交通安全推進協議会、三馬っ子見守り隊、三馬校下婦人会、三馬小育友会
参加した子ども	98名(3年生65名、4年生20名、5年生9名、6年生4名)
概要	サマースクールの一環として、3年生以上を対象に交通安全教室を行った。屋内で、金沢中警察署の方から講義を受け、見守り隊とクイズでルールを確認した。屋外では、運動場を道路に見立て、婦人会の方に歩行者役や信号機のお世話をいただき、実際の場面を想定した中で、自転車に乗り、交通推進隊や警察官の指導を受けた。
特徴・工夫	・事前に交通安全委員会を開き、交通安全教室の持ち方について協議をした。 ・三馬校下交通安全協議会のご協力をいただき、当日、各児童の自転車の無料点検を実施していただいた。
成果	・夏休みの初めに実施することで、児童の交通安全意識が高まり事故防止につながる。 ・ヘルメット着用を参加の前提とし、多くの3年生児童が参加することで全体のヘルメットの着用率が上がる。
課題	サマースクールの一環であり、自由参加のため、全員の交通安全意識の高揚につながりにくい。



## ⑧ 里山キタダン調査隊

田上小学校

日時	平成29年4月～12月	
関わった人たち	里山北谷里山メイトさん40名	
参加した子ども	5年生131名、2年生171名	
概要	5年生は、里山キタダン(北谷)で、春・夏・秋に植物・木の実・キノコ・歴史について調査を行ったり、里山メイトさんや地域の方に聞き取りをしながら、各自の課題で追究学習を行った。また、昔ながらの農法で稲作に取り組み、田植え・虫送り・稲刈り・餅つきの体験活動を里山メイトさんに教えていただきながら行った。2年生は、里山の自然について体験・学習した。	
特徴・工夫	10年間以上継続した活動である。また、餅つき体験は、里山メイトさんだけでなく、保護者も参加している。	
成果	田上の地域に「北谷」という自然の宝庫があることを知り、守っていかなくてはいけないという思いを自然と児童が持つことができた。また、昔ながらの農法の稲作は、手間暇がかかり苦勞も多いが、多くの地域の方の力を借りながら収穫の喜びを味わうことができた。	
課題	里山メイトさんが高齢化し、活動を継承できる方を育成していく必要がある。	

## ⑨ 食育教育

三和小学校

日時	平成29年11月9日(木) ※1年生の場合	
関わった人たち	保護者(食育指導士)、保護者18名、お父さん会、育友会など【総勢約60名】	
参加した子ども	全校生徒 ※全学年で年間実施	
概要	生活科学学習の一環として食育教室を行うなど、1～6年生全学年・全クラスにて系統的な指導計画のもとに実施。また、授業参観とは別日に設定したが多数の保護者と子どもたちが参加する学年もあり、その広がりと深まりは大きいものとなっている。	
特徴・工夫	年間を通して学年での系統的な食育教育を実施している。またお父さん会主催で、「手作り梅干し作り」など、年間3回の食育教育、また保護者・職員がミールライダーに扮して食の大切さを子どもたち、地域に訴える食育戦士物語を上演するなど、あらゆる方面からアプローチしている。	
成果	食のバランスの大切さ、食育の大切さが子どもたちの間に浸透してきている。スナック菓子ばかりに頼らないおやつ摂取に心がけていく子や保護者が生まれてきている。	
課題	教育課程において、適切な位置づけと時間確保が難しい現状がある。保護者全般には意識が定着しにくい面もある。	

## ⑩ 地域の先生によるサマースクール

犀川小学校

日時	平成29年7月31日(月)～8月8日(火)	
関わった人たち	地域ボランティア15名、公民館関係者3名、学生ボランティア10名	
参加した子ども	全校生徒227名	
概要	サマースクールを、地域ボランティアの方に先生になってもらい進める。(蒔絵教室、昔の遊び教室、科学教室、ちぎり絵教室、陶芸教室、マスコットづくり教室)	
特徴・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な分野の地域ボランティアの方に携わっていただき、子どもたちにとって幅広い学びの場となるようにした。</li> <li>学生ボランティア(本校卒業生等)も加え、「地域の学校」という意識を高めるようにした。</li> <li>公民館と一体となった活動をすることで、地域の活性化の一助となるようにした。</li> </ul>	
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちは、自分の興味のある教室に申し込み、意欲的に取り組んだ。</li> <li>1教室20人前後の少人数としたので、地域の先生方とも良い交流ができた。</li> </ul>	
課題	たくさんの地域の先生方との打ち合わせ時間の確保が課題である。	

## ⑪ 生け花活動

金石中学校

日時	平成29年11月29日(水) 16:00～17:30、 平成30年1月23日(火) 16:00～17:30	
関わった人たち	生け花スタッフ2名	
参加した子ども	1回目30名、2回目17名	
概要	事前に体験希望生徒を募集し、30名程度という活動教室にあわせた人数を確定した。花等の選定と準備は地域コーディネーターを中心に生け花スタッフが行った。当日は、説明を聞きながら活動に取り組み、持ち帰り用と校内用の物を作成し展示した。	
特徴・工夫	参加者数を抑えたことで、個別の対応が可能となり、完成度が高くなったことと時間の都合などで短時間での制作を希望する参加者にも十分対応することができた。持ち帰りやすい大きさや紙袋を準備したことで、作品を傷めることなく持ち帰らせることができた。	
成果	手軽に制作でき、作品を持ち帰ることができることもあり、参加希望が多く後半に実施回数を増やすこととなった。校内への展示もでき環境整備にも役立っている。	
課題	材料の発注から、当日の準備に時間を要する。生花ということもあり急な予定変更ができない。	

## 12 たてわり遠足の見守り活動

泉小学校

日時	平成29年11月2日(木) 9:00~14:30
関わった人たち	地域ボランティア3名、保護者2名
参加した子ども	全校生徒582名
概要	全校児童が1~6年生で編成されるたてわりグループで市民芸術村まで遠足に行く活動を行った。地域ボランティア(保護者も含む)の方々には、学校から市民芸術村の行き帰りの引率補助をしていただき、市民芸術村では子供たちの遊ぶ様子を遠くから見守っていただいた。
特徴・工夫	<ul style="list-style-type: none"><li>・600名近くの人数が公道を移動するので、各列の最後尾に地域ボランティアの方についていただき、安全を確保することができた。</li><li>・市民芸術村では、教員は各グループやゲームの担当があるので、地域ボランティアの方々に公園全体の見守りをしていただき、安心して活動することができた。</li></ul>
成果	地域ボランティアの方々の見守りのおかげで、子供たちは学年を越えた交流を思いっきり楽しむことができた。
課題	市民芸術村では、地域ボランティアの方々が、ゲームコーナーのお手伝いなど子供たちと直接関わる活動を入れられるとよかった。



## 13 栗アップ教室

栗崎小学校

日時	平成29年8月23日(水)~25日(金)8:30~10:30(23日のみ4~6年生は9:30~10:30)
関わった人たち	公民館関係者24名、保護者3名、地域5名【総勢32名】
参加した子ども	1~6年生78名
概要	1~6年児童の夏休みの宿題用ワークを進める補助を行った。地域ボランティアが、児童のそばに座り、励ましの声をかけたり、考えが思いつくように助言したりした。そして、宿題用ワークを終えた児童には、地域ボランティアが賞賛のシールを貼り、児童の自己肯定感を高める活動を行った。
特徴・工夫	<ul style="list-style-type: none"><li>・教室に参加する児童数に応じて、ボランティアの人数を配慮した。</li><li>・地域ボランティア同士、事前に宿題ワークの内容を共有し助言の仕方を考えた。</li><li>・児童の自己肯定感を高めるために、あたたかな励ましや助言に心がけた。</li></ul>
成果	参加した児童は宿題が進んだことに満足し、やりがいを感じていた。
課題	児童の実態をつかむまでの難しさや学習内容に応じてどの程度助言するとよいのか、担任と事前に情報を共有することが必要であった。



## 14 ガーデニング教室

大徳小学校

日時	平成29年8月10日(木) 9:00~10:30
関わった人たち	地域の花屋さん2名、保護者10名
参加した子ども	3~6年生30名
概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・夏休みを利用して、ガーデニング教室を行った。</li><li>・専門家から季節の花の植え方や育て方、花のある生活について説明を受けながら、寄せ植えを行った。</li></ul>
特徴・工夫	地域の花屋さんからお話を聞くことで、地域の環境について学ぶ機会とした。
成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・植え方や育て方のコツを丁寧に教えていただき、和やかな雰囲気の中で作業を行うことができた。</li><li>・子ども達は寄せ植えだけでなく、地域の方とのふれ合いも楽しむことができた。</li></ul>
課題	継続的に行っていく場合、コーディネーターと密に連携し計画的に活動していく必要がある。



## 15 くすのき算数教室

押野小学校

日時	平成29年6月6日(火)~平成30年3月13日(火) 14:30~15:30 (全22回程度)
関わった人たち	学生ボランティア7名
参加した子ども	3年生40名
概要	3年生を対象とした放課後の補充教室「くすのき算数教室」を通して、児童の確かな基礎学力の定着及び、学習意欲の向上を図る。タブレットを活用した問題提供と記録を行い、わからないところを地域コーディネーターの指導のもと、学生ボランティアが丁寧に指導した。
特徴・工夫	<ul style="list-style-type: none"><li>・無学年ステップ教材を活用して、実態に合わせてプリント学習を実施できるようにした。</li><li>・間違えた問題をしっかりと学生ボランティアが個別解説するシステムを整えた。</li></ul>
成果	学習ボランティアの方から、質問や感想をいただき、達成感を味わうことができた。
課題	学生ボランティアが多いが、より地域に密着した活動にするために、地域への声かけを行っていきたい。誰でも指導可能な簡便化したシステムを整えていききたい。



## 16 学習支援(3年国語科)

米丸小学校

日時	平成29年10月11日(水)、10月12日(木)	
関わった人たち	米丸小コミュニティ学習支援ボランティア6名	
参加した子ども	3年生115名	
概要	3年生の国語科「話すこと」の学習において、「地域の方々に学校行事を説明しよう」という内容で学習を進めた。	
特徴・工夫	学校行事についてよく知らない地域の方に分かるように説明して、聞いていただくという相手意識、目的意識をはっきりと持たせて学習を進めた。	
成果	学習ボランティアの方から、質問や感想をいただき、達成感を味わうことができた。	
課題	地域ボランティアに協力いただいた学習をカリキュラムに位置づけ、見直しを持って毎年行えるようにする。さらにボランティア確保に力を入れていきたい。	

## 17 お米づくり

花園小学校

日時	平成29年5～10月	
関わった人たち	地域のボランティア(農家)の皆さん14名	
参加した子ども	5年生29人	
概要	社会科や総合学習の一環として、学校田にお米を作る活動。田植え、稲刈り、脱穀、精米の活動を地域の農家のボランティアの方々と行う。10月には農家の方々に、児童が収穫したお米や野菜で料理をつくり振る舞う収穫祭を行う。	
特徴・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通じた体系的なお米作り体験ができた。</li> <li>次第に交流も深まり、農業についていろいろな話をお聞きすることができた。</li> <li>昔ながらの方法で、田植えは手植えをしたり、稲刈りは鎌で、脱穀は足踏み脱穀機で行った。</li> </ul>	
成果	お米作りを通して、農家の苦勞や喜びを理解することができた。最後に収穫祭を行ったことにより、さらに交流が深まった。またお米作りを理解することにより、農家が多いこの地域への愛着も深まった。	
課題	農家の方の繁忙期とも重なるので、日程の調整等の事前打ち合わせを十分に行う必要がある。	

## 18 朝の読み聞かせ活動

南小立野小学校

日時	平成29年4月～平成30年2月〈月2回程度〉	
関わった人たち	保護者11名、地域ボランティア8名	
参加した子ども	1～5年生464名	
概要	毎月2回程度、朝学習の時間に、子どもたちへの読み聞かせを行った。また、本に興味を持ってもらうため、図書室へ足を運びやすいように、季節の飾り付けをした。その他、本棚の整理や窓ガラスの清掃など、図書室の環境整備も行った。	
特徴・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせ活動後、保護者・地域のボランティアが集まって、反省会を行った。</li> <li>読み聞かせ経験のある地域ボランティアの方から、上手な読み聞かせのアドバイスをもらう場を設けた。</li> <li>地域ボランティアの方が、手作りの紙芝居を作成した。</li> </ul>	
成果	継続的な読み聞かせにより、子どもたちに本の楽しさを届けることができた。また、保護者と地域の方が一緒に活動することで、スタッフ自身に地域全体で子育て活動に取り組んでいるという実感を持つことができた。	
課題	今後もこの活動を続けていくために、新規ボランティアスタッフの募集に工夫をしたい。	

## 19 1年生昔遊び体験

安原小学校

日時	平成29年11月16日(木) 9:35～11:20	
関わった人たち	安原地区女性更生保護司会17名	
参加した子ども	1年生61名	
概要	第1学年教育課程の生活科(金沢「学びタイム」伝承遊びを体験する)の授業において、地域の方をゲストティーチャーにお呼びし、お手玉やけん玉、あやとり、独楽回し、鞠つき等を教わる。	
特徴・工夫	例年、安原町会連合会の団体(安原地区女性更生保護司会)にお願いし、伝承遊びを児童に教えていただくと共に、児童とのふれあいを楽しんでもらっている。	
成果	各伝承遊びのコーナーを回り、1年児童は伝承遊びの楽しさ、おもしろさを体感し、できるようになった喜びに満足していた。	
課題	せっかく来校された地域の方に、お礼として、児童と共に給食を食べながらのふれあいも味わってもらいたい。	